

公益社団法人日本地震工学会 第 63 回理事会議事録

A.日時： 2023 年 4 月 11 日（火） 16 時 00 分～19 時 15 分

B.場所： 建築会館および ZOOM によるオンライン会議

C.出席者：（会長）清野純史、（副会長）東 貞成、藤田 聡、松岡昌志

（担当理事）西村拓也、小林実央、古屋 治、山田岳峰、入江さやか、多幾山法子、鳥澤一晃、池田隆明、能島暢呂、市村 強、楠 浩一、近藤伸也、井上和真、小檜山雅之

（監事）五十田博、末富岩雄

オブザーバ出席：高田毅士（次期会長）、戸田薫子事務局長、小松康典事務局員

※下線は欠席者

D.議題および提出資料：

報告事項

- | | |
|---|----------|
| 1) 第 62 回理事会議事録（案）の確認（小林理事） | 資料 63-01 |
| 2) 会務報告（西村理事） | 資料 63-02 |
| 3) 広報部会からの報告（入江理事） | 資料 63-03 |
| 4) 情報コミュニケーション委員会からの報告（多幾山理事） | 資料 63-04 |
| 5) 会誌編集委員会からの報告（鳥澤理事） | 資料 63-05 |
| 6) 国際委員会、地震災害対応委員会からの報告（池田理事） | 資料 63-06 |
| 7) 論文集編集委員会からの報告（能島理事） | 資料 63-07 |
| 8) 事業企画委員会（企画）からの報告（近藤理事） | 資料 63-08 |
| 9) 将来構想委員会からの報告（東副会長） | 資料 63-09 |
| 10) 関東大震災 100 周年記念セミナーからの報告（東副会長） | 資料 63-10 |
| 11) 16JEES 運営委員会からの報告（小檜山理事） | 資料 63-11 |
| 12) 2022 年度業務執行理事の業務報告状況の確認（小林理事） | 資料 63-12 |
| 13) トルコ調査団派遣にあたって中東工科大学へのレター送付の報告（西村理事） | 資料 63-28 |

議案

- | | |
|---|----------|
| 第 1 号 入退会者（小林理事） | 資料 63-13 |
| 第 2 号 共催・後援・協賛等（小林理事） | 資料 63-14 |
| 第 3 号 令和 4 年度事業報告（案）（西村理事） | 資料 63-15 |
| 第 4 号 令和 4 年度決算（案）（古屋理事） | 資料 63-16 |
| 第 5 号 次期理事会理事候補者の選出（西村理事） | 資料 63-17 |
| 第 6 号 公益社団法人日本地震工学会第 11 回社員総会議事次第（西村理事） | 資料 63-18 |
| 第 7 号 功績賞・功労賞・論文賞・論文奨励賞細則の改定（西村理事） | 資料 63-19 |
| 第 8 号 16JEES 論文投稿費・参加費について（小檜山理事） | 資料 63-20 |
| 第 9 号 17WCEE 最終報告会、意見交換会 開催について（事務局） | 資料 63-29 |

懇談事項

- | | |
|--|----------|
| 1) 第 14 回理学・工学系学協会連絡協議会の報告（藤田副会長、東副会長） | 資料 63-21 |
| 2) 各表彰・名誉会員推挙について（西村理事、事務局） | 資料 63-22 |

3) 社員総会・臨時理事会の運営分担について（西村理事、小林理事）	資料 63-23
4) スペシャルアドバイザーの更新状況について（小林理事）	資料 63-24
5) 部会・委員会等の引継ぎについて（西村理事）	資料 63-25
6) 次期への申し送り事項（西村理事）	資料 63-26
7) 事務局長の退職金制度に関する提案について（西村理事、事務局）	資料 63-27

E.議事録：

議題

報告事項

- 1) 第 62 回理事会議事録（案）の確認（小林理事）
 - ・小林理事より資料 63-01 に基づいて第 62 回理事会議事録（案）の説明がなされ、異議なく承認された。
- 2) 会務報告（西村理事）
 - ・西村理事より資料 63-02 に基づいて会務報告の説明がなされ、異議なく承認された。
- 3) 広報部会からの報告（入江理事）
 - ・入江理事より、資料 63-03 に基づいて報告がなされた。
 - ・3 月 13 日にトルコ・シリア大地震に関する合同調査団のプレスリリースを中央省庁の 3 つの記者クラブにリリース。
 - ・NHK の社会部、共同通信科学部から事務局の方に問い合わせがあり、建設通信新聞 の方で調査団、派遣に関する記事が掲載された。
 - ・調査団の山中団長より在トルコ大使館の岩佐参事官が調査に一部同行され今後の各学会の調査や両国の学術交流の動向に注目してもらえそうとの報告をいただいている。
 - ・今後は、国際委員会や、地震災害対応委員会、IC 委員会等々と相談しながら、調査の成果を公表していきたい。
- 4) 情報コミュニケーション委員会からの報告（多幾山理事）
 - ・多幾山理事より資料 63-04 に基づいて、Newsletter および会員システムの更新について報告がなされ、異議なく承認された。
- 5) 会誌編集委員会からの報告（鳥澤理事）
 - ・鳥澤理事より資料 63-05 に基づいて会誌第 49 号および第 50 号の編集について、報告がなされた。
 - ・第 50 号の企画案を“関東大震災から 100 年”とするのか、“2023 年トルコ・シリア地震”とするのかは悩ましいところであり、検討を継続することとなった。
 - ・委員会共有フォルダの使用について
前回の理事会で事務局よりアナウンスのあった委員会共有フォルダの使用について、第 49 号から試行開始、共有フォルダを使用することで、委員会内でのファイルのやり取りの煩雑さは解決。原稿ファイルの一元管理・共有も可能となった。
- 6) 国際委員会、地震災害対応委員会からの報告（池田理事）
 - ・池田理事より資料 63-06 に基づいて、地震災害対応委員会、国際委員会の活動について報告がなされた。
 - ・トルコ南部の地震についての情報発信を引き続きウェブサイトを通じて行っている。

- ・トルコ南部地震被害調査について東工大の山中先生のチームが被害調査を行っているが第2弾、第3弾という形で被害調査団を派遣したい。
 - ・調査費用の補助制度として3月20日に会員に配信しており、40歳以下の正会員を対象に調査費用の補助をする補助額は25万円。
 - ・鳥取大学の小野先生を団長に5月3日から9日に調査を行うということになっており、この調査団は、土木学会と日本地震工学会の合同調査団という形になる。これに際し、代表幹事である日本地震工学会会長からトルコ側にきちんと報告をした上で調査を行いたいということでIAEEのトルコのNational Delegatesの中東工科大学の先生に対して協力依頼のレターを送付する予定になっている。この内容については、資料63-28に基づいて説明された。
 - ・上記調査団に井上理事が参加する予定である。井上理事から調査費用の補正制度利用の申請があり、清野会長より本申請は承認されている。本理事会においても申請は異議なく承認された。
 - ・2024年イタリアで開催される18WCEEについて来月の5月15日がアブストラクト提出締め切りになっており、何か我々からサポート、周知する必要があるのではないかとこの質問があり、まずはメールニュースで対応しイベントカレンダーを更新しタイムリーに情報をしっかりと出すということとなった。
 - ・調査団が開催する速報会・発表会の開催方法（共催学会等）については継続検討となった。
 - ・国内外で発生した地震被害調査に関する支援を行うための規則の作成、および、国際委員会における英文ダイジェスト版の作成・発行については、次期担当理事に引継ぎを行うとの説明がなされた。
- 7) 論文集編集委員会からの報告（能島理事）
- ・能島理事より資料63-07に基づいて、論文集編集委員会の活動について報告がなされた。
 - ・将来像検討WGでの検討結果を踏まえ、論文集の刊行間隔について検討をしている。通常号が2月、5月、8月、11月3か月間隔で英文号が英文だけまとめて6月、12月ということで、6か月間隔になっているが英文号を廃止して、2ヶ月に1回の刊行とすることや、公開可能になった段階で順次掲載する方式とすることの可能性について、検討している。
 - ・特集号について、最近ほとんどJEES特集号のみになっているが、本来的には時機を捉えたテーマを取り上げていきたい。一般会員であればだれでも特集号の企画者になれるということも含め、特集号の新企画の立上げの方法などについて改めて会員に周知し、投稿数の増や論文集の活性化ということに繋げていきたい。
- 8) 事業企画委員会（企画）からの報告（近藤理事）
- ・近藤理事より事業企画委員会の活動について報告がなされた。
 - ・昨年5月に実施したオンライン講習会「機械学習・深層学習のプログラミング講習と地盤工学での事例紹介」の続編の計画など、次年度どのように進めていくのかを次期委員長井上理事と共に検討していきたい。
- 9) 将来構想委員会からの報告（東副会長）
- ・東副会長より将来構想委員会の報告がなされた。前回第62回で報告した内容を委員会としての最終報告案とする方向で検討しているとの報告がなされた。
- 10) 関東大震災100周年記念セミナーの報告（東副会長）
- ・東副会長より、関東大震災100周年記念セミナーの進捗状況について報告がなされた。
 - ・地震学会から提出していた科研費の申請が却下されたことをうけ、予算化した50万円をフル活用していく予定との報告がなされた。
 - ・今後、広報関係をお願いして、イベントカレンダー、あるいはトピックス、ニュースレターなど

に掲載をお願いしていく。

11) 16JEES 運営委員会からの報告 (小檜山理事)

- ・小檜山理事より資料 63-11 に基づいて、16JEES についての準備状況 (後援、技術展示、協賛) について報告がなされた。
- ・トルコ・シリア地震の緊急報告をオーガナイズドセッションとして追加したため、複数投稿が増えるとの想定をしている。そこで、1人で複数編を投稿するケースを想定した、論文投稿費・参加費について提案がなされ、異議なく承認された。
- ・前田記念工学振興財団の助成金は不採択となったが、公益財団法人横浜観光コンベンション・ビューローの横浜コンベンション開催支援助成金 (上限額 100 万円) に日本地震工学会 (代表者: 清野会長、申請者: 戸田事務局長) の名義で申請することについて提案がなされ、異議なく承認された。なお、書類作成は総務・会場部会の糸井幹事が担当。
- ・行事・企画部会において、パネルディスカッションでの議論のために行っている関東地震に関する事前アンケートの締め切りが今週金曜日であることが報告された。まだアンケートに回答されていない理事に対し、記名の上、アンケートに回答いただきたい旨要請があった。
- ・入江理事より理事宛てに改めてアンケートのフォームがメール送付されることとなった。

12) 2022 年度業務執行理事の業務報告状況の確認 (小林理事)

- ・小林理事より資料 63-12 に基づいて、2022 年度業務執行理事の業務報告状況の確認について報告がなされ、異議なく承認された。

13) トルコ調査団派遣にあたって中東工科大学へのレター送付の報告 (西村理事)

- ・西村理事より、資料 63-28 に基づいて、トルコ調査団派遣にあたって中東工科大学へのレター送付の報告がなされた。
- ・鳥取大学の小野先生をリーダーに、イスタンブール工科大をカウンターパートとして土木学会の調査団がトルコ内にて調査を行う予定であるが土木学会の調査団は、土木学会が主体で編成しているものの、JAEE・土木学会の合同調査団、あるいは JAEE 調査団の一部としての土木学会調査団としての位置づけになる。JAEE の名義も入った調査団がトルコ国内で活動するのに際し、IAEE のトルコ代表に対して何も断りもなく活動するのは好ましくなく、JAEE 会長名で、JAEE から IAEE のトルコの National Delegates の中東工科大学の先生に対して、お見舞いおよび現地調査についてメールにて連絡することになったもの。
- ・日本建築学会の調査団は、調査に先立ち在トルコ日本大使館へ調査協力依頼を送付したとの報告があり、楠理事より送付文が紹介された。国際委員会を中心に土木学会と連携して在トルコ日本大使館の協力を仰ぐことも検討することとなった。

上記の通り出席した業務執行理事より業務報告がなされた。

議案

第 1 号 入退会者 (小林理事)

- ・小林理事より資料 63-13 に基づいて入退会者の報告がなされ、異議なく承認された。
- ・正会員: 980 人、学生会員: 79 人、学生会員は割安な簡単なシステムができたので、大学等における先生方は、ぜひ学生をまとめて会員になっていただきたいとの要請が会長からなされた。

第 2 号 共催・後援・協賛等 (小林理事)

- ・小林理事より共催・後援・協賛等について今回は対象となる案件が無かったとの説明がなされた。
- 第3号 令和4年度事業報告(案) (西村理事)
- ・西村理事より資料63-15に基づいて令和4年度事業報告(案)についての説明がなされ、異議なく承認された。
- 第4号 令和4年度決算(案) (古屋理事)
- ・古屋理事より資料63-16に基づいて令和4年度決算(案)についての説明がなされ、異議なく承認された。
- 第5号 次期理事会理事候補者の選出(西村理事)
- ・西村理事より資料63-17に基づいて次期理事会理事候補者の選出についての説明がなされ、10名の新理事候補について異議なく承認された。
 - ・新理事候補の皆様に対し、事務局より承諾書送付・返信の手続きを行うことが報告された。
- 第6号 公益社団法人日本地震工学会第11回社員総会議事次第(西村理事)
- ・西村理事より資料63-18に基づいて公益社団法人日本地震工学会第11回社員総会議事次第についての説明がなされた。
 - ・開催方式として今年度は建築会館ホールでの出席とオンラインによる参加というハイブリッド参加型とする。
 - ・新型コロナウイルスの対策で、5月8日からコロナが5類感染症引き下げられることに伴って、屋内においても、マスク着用が原則不要となる見込みとなる。また直近の感染状況に応じて必要とされる感染対策を講じて、現地開催を実施する考え。
 - ・去年はオンライン出席者を出席にカウントしていたが、今回はオンライン参加の場合出席はカウントしない。しかし、今の会員(総会出席)システムは、オンライン出席を前提とした様式になっているので、この点の修正を事務局の方で至急対応する。この点以外は第6号で説明の内容について承認された。
- 第7号 功績賞・功労賞・論文賞・論文奨励賞細則の改定(西村理事)
- ・西村理事より資料63-19に基づいて功績賞・功労賞・論文賞・論文奨励賞細則の改定について報告がなされ、異議なく承認された。
 - ・これまで検討してきたメダルの贈呈に関し、授賞式の該当部分のところに副賞を送るとして細則に追記するもの。
- 第8号 16JEES論文投稿費・参加費について(小檜山理事)
- ・報告事項11)の16JEES運営委員会からの報告で、小檜山理事より資料62-20に基づいて説明され、承認済み。
- 第9号 17WCEE最終報告会、意見交換会開催について(事務局)
- ・事務局より資料62-29に基づいて17WCEE最終報告会、意見交換会開催についての提案がなされ、異議なく承認された。

懇談事項

- 1) 第14回理学・工学系学協会連絡協議会の報告(藤田副会長、東副会長)
 - ・藤田副会長、東副会長より資料63-21に基づいて、第14回理学・工学系学協会連絡協議会についての報告がなされた。
- 2) 各表彰・名誉会員推挙について(西村理事、事務局)
 - ・西村理事より資料63-22に基づいて、各表彰・名誉会員推挙について報告がなされた。

- 3) 社員総会・臨時理事会の運営分担について（西村理事、小林理事）
 - ・西村理事より資料 63-23 に基づいて、社員総会・臨時理事会の運営分担についての報告がなされた。
 - ・社員総会の記録等の分担は、当日の出席予定を見ながら理事各位に相談する予定である。会長より総会当日の現地出席の要請があった。
- 4) スペシャルアドバイザーの更新状況について（小林理事）
 - ・小林理事より資料 63-24 に基づいて、スペシャルアドバイザーの更新状況についての報告がなされた。
 - ・後藤洋三氏、柴田明德氏、岩橋徹広氏、小川雄二郎氏、安田進氏、大角恒雄氏は更新の予定。北浦勝氏は高齢を理由にご辞退の予定。
- 5) 部会・委員会等の引継ぎについて（西村理事）
 - ・西村理事より資料 63-25-1 に基づいて、部会・委員会等の引継ぎについての説明がなされた。
 - ・西村理事より資料 63-25-2 に基づいて、2023 年度日本地震工学会理事会開催日程についての説明がなされた。
- 6) 次期への申し送り事項（西村理事）
 - ・西村理事より資料 63-26 に基づいて、次期への申し送り事項についての説明がなされた。
- 7) 事務局長の退職金制度に関する提案について（西村理事、事務局）
 - ・西村理事、事務局より資料 63-27 に基づいて、事務局長の退職金制度に関する提案についての説明がなされた。
 - ・事務局員が定着しづらいという問題に対して検討をする必要があり、退職金か給与の引き上げか、社会保険労務士とも相談しながら早めに決着をつけるように継続して前向きに検討していくこととなった。

次回予定：第 64 回理事会 6 月 16 日（金）16：00～19：00

以上 この議事録が正確であることを証します。

令和 年 月 日

議長 清野 純史

監事 五十田 博